

生成AI×自律実験室：生物学基盤モデルが変える創薬の未来



戦略的提携と次世代の
ビジネスモデル



最大数千万米ドルの契約規模
2026年9月の発表後、同社の株価は
一時7%超の上昇を記録しました。



革新的な「レベニュー
シェア」構造

従来の一時的モデルを超え、基盤モデル製品の売上を両社で分担する仕組みです。



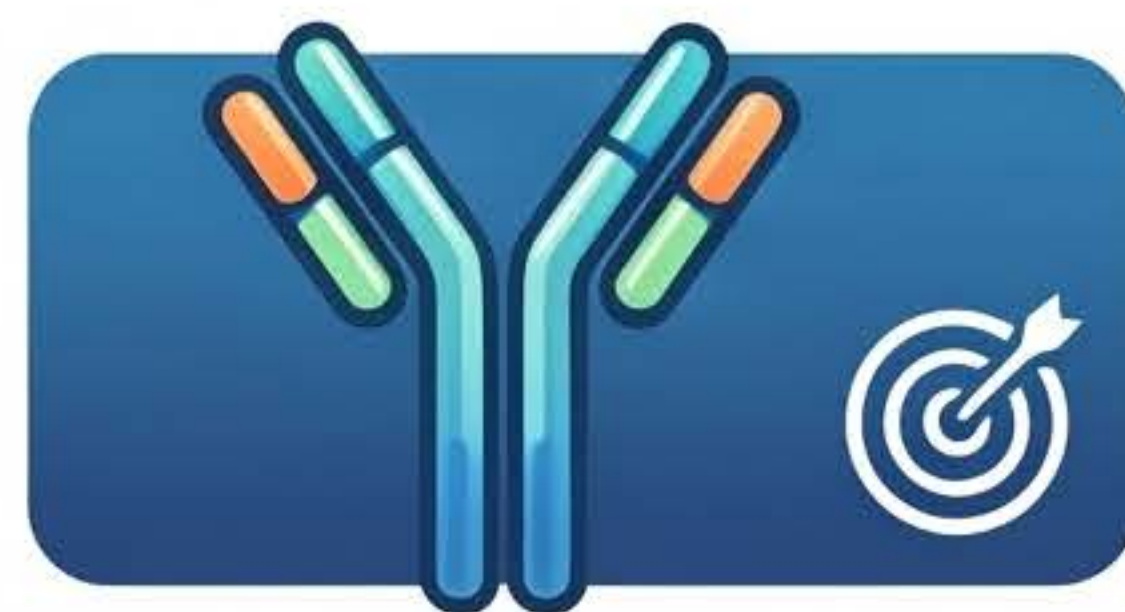
2026年上半期の
黒字転換を達成

売上高1億630万ドルを計上し、バイオIT企業として
強固な財務基盤を確立。

「Lab-in-the-loop」：AIと実験の融合プロセス



重点開発領域と具体的技術目標



結合分子の設計
抗体やナノボディのデノボ設計と最適化



次世代ゲノム編集
新規エンドヌクレアーゼおよび編集因子の配列設計



特異的酵素の設計
天然に存在しない人工酵素の合理的生成



多目的特性の同時最適化
安定性、結合力、ADMET特性の多変数同時充足